

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 25 年 5 月 2 日 (2013.5.2)

【公表番号】特表 2012-530569 (P2012-530569A)
 【公表日】平成 24 年 12 月 6 日 (2012.12.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-051
 【出願番号】特願 2012-516595 (P2012-516595)
 【国際特許分類】

A 6 1 M 1/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 1/10 5 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 3 月 14 日 (2013.3.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

体外循環システムに血液を送り出すための装置であって、

- 遠心ポンプであって、前記ポンプの吸引側に接続された静脈ホースラインを介して送り出される前記血液を吸引するとともに前記ポンプの排出側に接続された動脈ホースラインを介して前記血液を排出する遠心ポンプと、

- 前記ポンプの前記排出側の排出量を検出するとともに前記排出量に対応する測定信号を出力する流量センサと、

- 前記ポンプの前記排出側の圧力を検出するとともに前記圧力に対応する測定信号を出力する圧力センサと、

- 前記流量センサの前記測定信号および前記圧力センサの前記測定信号が供給されるとともに、2 つの前記測定信号および前記遠心ポンプの回転速度に基づいて前記ポンプの前記吸引側の圧力に対応する値を決定する、評価ユニットと、を有する、

装置。

【請求項 2】

前記評価ユニットは、前記ポンプの前記吸引側の前記圧力に対応する前記値を決定するときに、前記遠心ポンプの特性のセットにアクセスする、

請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記遠心ポンプの前記特性のセットは前記評価ユニットのメモリに格納される、

請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記評価ユニットは、少なくとも、前記ポンプの吸引側の真空度を表示するためのおよび / または操作者に警告するための表示手段に接続される、

請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 5】

回転速度センサの測定信号が前記評価ユニットに供給される、

請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 6】

前記ポンプの回転速度に対応する前記ポンプの制御信号が、前記評価ユニットに供給さ

れる、

請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 7】

前記評価ユニットは、前記遠心ポンプの回転速度を決定する制御信号が前記遠心ポンプに供給され得るように、前記遠心ポンプ用の制御装置の機能を担うまたは前記遠心ポンプ用の制御装置に統合される、

請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 8】

前記評価ユニットは、前記ポンプの前記吸引側の圧力の所定値に達したときに、前記遠心ポンプの回転速度を減少させる、

請求項 7 に記載の装置。